

利用客数を制限して混雑を回避しつつ、 基本的な感染防止対策を徹底



北海道スタイル



(席を離しパーティションを設けた食事処)

- ✓ 高窓や換気口の開放による換気を実施
- ✓ 宿泊・日帰り入浴とも入館人数を制限
- ✓ チェックイン時に食事時間を調整し、食事処の密を回避

(館内に設置された空気清浄機)

—これまでどのような影響がありましたか。

2020年4月下旬から5月末まで、完全に休館しました。感染拡大防止に取り組みつつ、営業を行っていますが、先が見通せない状況です。当旅館ではバター、プリンの販売も行っていますが、百貨店等の催しがなくなり、影響を受けています。



(高窓を開放)

—そうした状況の中、入館時にはどのような対策を講じられていますか。

感染防止対策として、今では一般的かもしれませんが、宿泊・日帰り入浴に限らずお客様には入館時に手指消毒をお願いし、検温を実施しています。宿泊のお客様にはチェックイン時に体調の確認を行っています。



(客室の換気口を開放)

また、日帰り入浴のお客様には、お名前と携帯電話番号の記入をお願いしております。なお、スタッフも出勤時に体温測定と体調の確認を徹底して実施しています。

—館内における感染拡大防止対策をお聞かせください。

館内の吹き抜けにある高窓を開放し、自然に空気が入れ替わるパッシブ換気を実施しています。



(手が触れる部分を定期的に消毒)

また、館内には加湿器と空気清浄機を設置し常に運転するとともに、出入口・トイレ・洗面所・脱衣所・ダイニングなど各所に手指消毒用の消毒剤を設置し、お客様にこまめに消毒していただけるようにしています。

さらに、手が触れる部分については、スタッフが定期的にアルコール消毒を徹底しています。感染リスクの高い食事処はテーブル、小上がり席の数を減らしてソーシャルディスタンスを確保し、パーティションを設置した上で、チェックイン時に食事時間を調整させていただくことで、密にならないようにしています。一部ビュッフェ形式だった食事は、すべてスタッフが配膳するスタイルに切り替えています。



※パッシブ換気：温度差による空気の流れをつくり、自然に換気を行う方法。薪ストーブや温水パネルヒーターで館内温度を高め、客室等の換気口や高窓を少しだけ開けることで冷気を外から取り入れ、常に空気を循環させている。

—そのほかの取組、また、今後についての想いをお聞かせください。

現在、宿泊者・日帰り入浴ともにお客様の数を制限するとともに、日帰り入浴・カフェは時間短縮営業とするなど、営業内容の縮小による混雑回避に努めております。

できるだけ対策をとりながら、営業を継続していくことを目指しております。

【企業プロフィール】

名称：北海道 豊富温泉 川島旅館(株式会社川島旅館)

本社：天塩郡豊富町

業種：旅館業

概要：1927年創業の川島旅館を引き継ぎ、2010年に設立。アトピー・乾癬などに効能を示す温泉を求めて、各地から湯治客が訪れている。オリジナル商品の開発も行っている。

H P : <http://kawashimaryokan.co.jp>

TEL : 0162-82-1248